平成31年度用教科書内容解説資料

シラバス案 評価規準例

【巻頭資料】
学習指導要領
新旧対照表

【巻末資料】
検討の観点と
内容の特色

●もくじ

・学習指導要領（芸術・書道Ⅰ）新旧対照表……2
・「書Ⅰ306」準拠シラバス案……4
・〃　準拠評価規準例……6
・「書Ⅱ306」準拠シラバス案……10
・「書Ⅲ302」準拠シラバス案……12
・検討の観点と内容の特色「書Ⅰ306」・「書Ⅱ306」……14
・〃　「書Ⅰ302」・「書Ⅱ302」・「書Ⅲ302」……15

教育図書

学習指導要領〔高等学校芸術・書道Ⅰ〕新旧対照表

※ **新たに加わった文言** ／ 変更された文言 ／ 削除された文言 （教育図書株式会社編集部作成）

今回の改訂は、現行学習指導要領の枠組みや教育内容を維持した上で，子供たちに育む「生きる力」を資質･能力として具体化し，「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有しながら，授業の創意工夫や教科書等の教材の改善を引き出していけるよう，教科等の目標及び内容が，**知識及び技能**，**思考力**，**判断力**，**表現力等**，**学びに向かう力**，**人間性等**の三つの柱によって再整理されています。

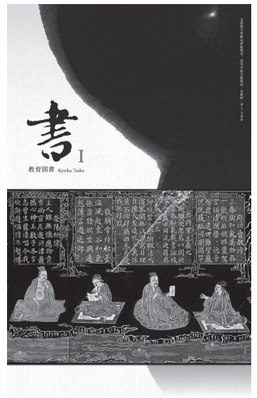
新（平成 30 年 3 月 30 日告示）	現 行
第 10 書道Ⅰ	**第 10 書道Ⅰ**
1 目　標 書道の幅広い活動を通して，**書に関する見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の文字や書**，書の伝統と文化**と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。** **⑴書の表現の方法や形式，多様性などについて幅広く理解するとともに，書写能力の向上を図り，書の伝統に基づき，効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。** **⑵書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。** **⑶主体的に書の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。**	**1 目　標** 書道の幅広い活動を通して，生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，書写能力の向上を図り，表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし，書の伝統と文化についての理解を深める。
2 内　容 A 表　現 表現に関する**資質・能力を**次のとおり育成する。 ⑴ 漢字仮名交じりの書 **漢字仮名交じりの書に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。** **ア　知識や技能を得たり生かしたりしながら，次の（ア）から（ウ）までについて構想し工夫すること。** （ア）漢字と仮名の調和した字形，文字の大きさ，全体の構成 （イ）目的や用途に即した**表現**形式，意図に基づいた表現 （ウ）名筆を生かした表現**や現代に生きる表現** **イ　次の（ア）及び（イ）について理解すること。** （ア）用具・用材の特徴**と表現効果との関わり** **（イ）名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わり** **ウ　次の（ア）及び（イ）の技能を身に付けること。** （ア）目的や用途に即した**効果的な表現** （イ）漢字と仮名の調和した線質による表現 ⑵ 漢字の書 **漢字の書に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。** **ア　知識や技能を得たり生かしたりしながら，次の（ア）及び（イ）について構想し工夫すること。** （ア）古典**の書体や書風に即した**用筆・運筆，字形，全体の構成 （イ）意図に基づいた表現 **イ　次の（ア）及び（イ）について理解すること。** （ア）用具・用材の特徴**と表現効果との関わり** **（イ）書体や書風と用筆・運筆との関わり** **ウ　次の(ア)及び（イ）の技能を身に付けること。** （ア）古典に基づく基本的な用筆・運筆 （イ）古典の線質，字形や構成を**生かした表現** ⑶ 仮名の書 **仮名の書に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。** **ア　知識や技能を得たり生かしたりしながら，次の（ア）及び（イ）について構想し工夫すること。** （ア）古典**の書風に即した**用筆・運筆，**字形**，全体の構成 （イ）意図に基づいた表現 **イ　次の（ア）及び（イ）について理解すること。** （ア）用具・用材の特徴**と表現効果との関わり** **（イ）線質や書風と用筆・運筆との関わり** **ウ　次の（ア）及び（イ）の技能を身に付けること。** （ア）古典に基づく基本的な用筆・運筆 （イ）連綿と単体，線質**や字形を生かした表現**	**2 内　容** A 表　現 表現に関して，次の事項を指導する。 ⑴ 漢字仮名交じりの書 ア 用具・用材の特徴を理解し，適切に扱うこと。 イ 漢字と仮名の調和した線質の表し方を習得すること。 ウ 字形，文字の大きさと全体の構成を工夫すること。 エ 名筆を生かした表現を理解し，工夫すること。 オ 目的や用途に即した形式，意図に基づく表現を工夫すること。 ⑵ 漢字の書 ア 用具・用材の特徴を理解し，適切に扱うこと。 イ 古典に基づく基本的な点画や線質の表し方を理解し，その用筆・運筆の技法を習得すること。 ウ 字形の構成を理解し，全体の構成を工夫すること。 エ 意図に基づく表現を構想し，工夫すること。 ⑶ 仮名の書 ア 用具・用材の特徴を理解し，適切に扱うこと。 イ 古典に基づく基本的な線質の表し方を理解し，その用筆･運筆の技法を習得すること。 ウ 単体，連綿の技法を習得し，全体の構成を工夫すること。 エ 意図に基づく表現を構想し，工夫すること。

新（平成 30 年 3 月 30 日告示）	現 行
B 鑑　賞 鑑賞に関する**資質・能力を**次のとおり育成する。 ⑴ **鑑賞** **鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。** **ア　鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら，次の（ア）及び（イ）について考え，書のよさや美しさを味わって捉えること。** **（ア）作品の価値とその根拠** （イ）生活や社会における書の効用 **イ　次の（ア）から（エ）までについて理解すること。** **（ア）線質，字形，構成等の要素と表現効果や風趣との関わり** （イ）日本及び中国等の文字と書の伝統と文化 （ウ）漢字の書体の変遷，仮名の成立等 **（エ）書の伝統的な鑑賞の方法や形態** **〔共通事項〕** **表現及び鑑賞の学習において共通に必要となる資質・能力を次のとおり育成する。** ⑴「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 **ア　用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解すること。** **イ　書を構成する要素について，それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解すること。** **3 内容の取扱い** ⑴内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導については，**それぞれ特定の活動のみに偏らないようにするとともに，「A表現」及び「B鑑賞」**相互の関連を図るものとする。 **⑵内容の「A表現」の⑴，⑵及び⑶の指導については，それぞれア，イ及びウの各事項を，「B鑑賞」の⑴の指導については，ア及びイの各事項を適切に関連させて指導する。** ⑶内容の「A表現」の⑴については漢字は楷書及び行書，仮名は平仮名及び片仮名，⑵については楷書及び行書，⑶については平仮名，片仮名及び変体仮名を扱うものとし，**また**，⑵については，生徒の特性等を考慮し，草書，隷書及び篆書を加えることもできる。 ⑷内容の「A表現」の⑵及び⑶については，臨書及び創作を通して指導するものとする。 ⑸内容の〔共通事項〕は，表現及び鑑賞の学習において共通に必要となる資質･能力であり，「A表現」及び「B鑑賞」の指導と併せて，十分な指導が行われるよう工夫する。 ⑹内容の「A表現」の指導に当たっては，篆刻，刻字等を扱うよう配慮するものとする。 ⑺内容の「A表現」の指導に当たっては，中学校国語科の書写との関連を十分に考慮するとともに，**高等学校国語科との関連を図り，学習の成果を生活に生かす視点から**，目的や用途に応じて，硬筆も取り上げる**よう配慮する**ものとする。 **⑻内容の「B鑑賞」の⑴のイの（ウ）の指導に当たっては，漢字仮名交じり文の成立について取り上げるようにする。** **⑼内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては，思考力，判断力，表現力等の育成を図るため，芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けられるよう指導を工夫する。なお，内容の「B鑑賞」の指導に当たっては，作品について根拠をもって批評する活動などを取り入れるようにする。** **⑽内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては，書道の諸活動を通して，生徒が文字や書と生活や社会との関わりを実感できるよう指導を工夫する。** ⑾自己や他者の著作物及びそれらの著作者の創造性を尊重する態度の形成を図るとともに，必要に応じて，書に関する知的財産権について触れるようにする。**また，こうした態度の形成が，書の伝統と文化の継承，発展，創造を支えていることへの理解につながるよう配慮する。**	B 鑑　賞 鑑賞に関して，次の事項を指導する。 ア 日常生活における書への関心を高め，その効用を理解すること。 イ 見ることを楽しみ，書の美しさと表現効果を味わい，感じ取ること。 ウ 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解すること。 エ 漢字の書体の変遷，仮名の成立等を理解すること。 **3 内容の取扱い** ⑴ 内容の A 及び B の指導に当たっては，相互の関連を図るものとする。 ⑵内容の A の指導に当たっては，⑴の漢字は楷書及び行書，仮名は平仮名及び片仮名，⑵は楷書及び行書，⑶は平仮名，片仮名及び変体仮名を扱うものとし，⑵については，生徒の特性等を考慮し，草書，隷書及び篆書を加えることもできる。 ⑶内容の A の指導に当たっては，中学校国語科の書写との関連を十分に考慮し，日常生活における目的や用途に応じて，硬筆も取り上げるものとする。 ⑷内容の A の指導に当たっては，篆刻，刻字等を扱うよう配慮するものとする。また，⑵ 及び⑶については，臨書及び創作を通して指導するものとする。 ⑸内容の B の指導に当たっては，作品について互いに批評し合う活動などを取り入れるようにする。 ⑹書に関する知的財産権などについて配慮し，自己や他者の著作物等を尊重する態度の形成を図るようにする。

書 Ⅰ ［6教図　書Ⅰ　306］ 準拠シラバス案

書Ⅰ	単位数	2 単位	担当者	
	学科・学年・学級 使用教科書・副教材等	○○科 書Ⅰ	第○学年 書Ⅰ 306	○○組 教育図書

スマホ・携帯でシラバス他資料を見る



1.学習の目標

・小・中学校国語科書写の学習を基礎とし，書道の幅広い学習活動を通して，生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。
・書に親しむ活動を通して感性を高め，書写能力の向上を図り，自己を主体的に表現するための能力を伸ばす。
・書の美しさを感じとる鑑賞の基礎的な能力を養い，書の伝統と文化についての理解を深める。

2.科目の特色（目標を実現するための重要点を含む）

(1)「漢字仮名交じりの書の学習」では，基本的な用具・用材の扱いを理解し，自らの構想に基づいて漢字と仮名の調和した表現を工夫する。
(2)「漢字の書の学習」では，さまざまな漢字の書の美とその技法を学び，創造的な表現をするための技能を身に付け表す。
(3)「仮名の書の学習」では，基本的な用具・用材の扱いや，日本の伝統的な仮名の書の美の特質を理解し，創造的な表現をするための技能を身に付け表す。
(4) 鑑賞の学習では，日常生活の書の効用，文字及び書の伝統と文化について幅広く理解し，その価値を考え，書のよさや美しさを創造的に味わう。

3.学習計画及び評価［すべての領域を学習する場合］

学期	単元名	月	学習活動	評価方法
1	**文字の世界を旅しよう**	適宜	・世界のさまざまな文字と，漢字の特性を知る。	学習活動への参加状況や態度
	書へのいざない 書写から書道へ	4	・中学校までの書写の学習を振り返り，書写と書道の共通点と相違点を理解する。	学習活動への参加状況や態度
	用具・用材 姿勢・執筆法		・用具・用材の種類や性能，製法を学ぶ。 ・姿勢や執筆法の基本を理解し，用具・用材による表現の変化を学ぶ。	学習活動への参加状況や態度 学習活動への参加状況や態度
	Introduction　書の古典	5	・漢字の書体の変遷と，仮名の誕生について理解する。 ・書の古典の種類や形式について理解する。	学習の記録 学習の記録
	1.漢字の書の世界 **①漢字の書の学習をはじめよう** **②楷書の古典に学ぼう**	6	・古典の意義や拓本について学ぶ。 ・さまざまな楷書古典の臨書学習により，基本的な点画や線質の表し方，用筆法・運筆法を学ぶ。 ・唐時代の政治や文化を通して，初唐の三大家と太宗との関係について知る。	学習活動への参加状況や態度 試書等の記録ファイル， 学習の記録，「学習のまとめ」 学習活動への参加状況や態度
	［コラム　歴史の扉］ 世界に開かれた帝国・唐 ［コラム　祈りの書］写経・造像記 作品鑑賞の部屋　みる・くらべる 近現代の漢字の書❶	7	・祈りの心と書の関係について知る。 ・近現代の楷書の作品を鑑賞し，感じたことを自分のことばでまとめ，意見交換する。	学習活動への参加状況や態度 鑑賞カード
2	**③行書の古典に学ぼう**	9	・さまざまな行書古典の臨書学習により，基本的な点画や線質の表し方，用筆法・運筆法を学ぶ。 ・王羲之と蘭亭序について知る。 ・奈良～平安時代の，日本と中国の文化交流の歴史を知る。	試書等の記録ファイル， 学習の記録，「学習のまとめ」 学習活動への参加状況や態度 学習活動への参加状況や態度
	［コラム　人と書］書聖王羲之 ［コラム　歴史の扉］ 大陸文化の摂取と天平の美術 ［コラム　士大夫の書］ 蘇軾・黄庭堅・米芾 作品鑑賞の部屋　みる・くらべる 近現代の漢字の書❷ 〈表現の窓〉漢字の書の作品制作		・北宋時代と，蘇軾・黄庭堅・米芾について知る。 ・近現代の行書の作品を鑑賞し，感じたことを自分のことばでまとめ，意見交換する。 ・自らの思考や感動を表現する語句を選び，用具・用材や形式，構成などの表現方法を工夫し，作品を制作する。	学習活動への参加状況や態度 鑑賞カード 作品構想カード，学習成果（作品）
	④篆書に親しもう 〈表現の窓〉篆刻 〈表現の窓〉印を刻る **⑤隷書に親しもう** **⑥草書に親しもう**	10	・身の回りにある篆書に気づき，その効果について考え，篆書の表現に親しむ。 ・印と篆刻について知る。 ・名前の印の刻し方を理解する。 ・身の回りにある隷書に気づき，その効果について考え，隷書の表現に親しむ。 ・身の回りにある草書に気づき，その効果について考え，草書の表現に親しむ。	学習の記録 学習の記録 篆刻実習カード，成果物 学習の記録 学習の記録
	2.仮名の書の世界 Introduction　仮名の成立 **①仮名の書の学習をはじめよう** **②仮名の書の古典に学ぼう** ［コラム　文学と書］ 平安時代の文学と仮名	11 12	・仮名の成立と変遷，種類について理解する。 ・仮名の用具・用材と，姿勢や執筆法を理解し，基本用筆を学ぶ。 ・仮名の書の特質を，平安時代の古筆の表現に学ぶ。 ・平安時代の文学と仮名の関係について知る。	学習活動への参加状況や態度 学習の記録 学習活動への参加状況や態度， 試書等の記録ファイル 試書等の記録ファイル， 学習の記録，「学習のまとめ」 学習活動への参加状況や態度 学習の記録

学期	単元名	月	学習活動	評価方法
	作品鑑賞の部屋　みる・くらべる 近現代の仮名の書 〈表現の窓〉仮名の書の作品制作		・近現代の仮名の作品を鑑賞し，感じたことを自分のことばでまとめ，意見交換する。 ・仮名の書の表現の特性を生かす語句を選び，用具・用材や形式，構成などの表現方法を工夫し，作品を制作する。	鑑賞カード 作品構想カード，学習成果（作品）
3	**3.漢字仮名交じりの書の世界** Introduction　漢字仮名交じりの書の変遷 **①漢字仮名交じりの書の学習をはじめよう** 〈表現の窓〉古典に表現を学ぶ	1	・漢字と仮名を交えた日本語の表記の歴史を理解する。 ・漢字と仮名の調和した表現について理解し，自由に表現する喜びを味わう。 ・自らの思考や感動を表現できる語句を選び，意図やねらいに合う古典を参考にし，作品を制作する。	学習活動への参加状況や態度 学習活動への参加状況や態度 試書等の記録ファイル，学習の記録 作品構想カード，学習成果（作品）
	②自分らしい表現を求めて ［用具・用材の工夫］ **③自分らしい表現を求めて** ［紙面構成の工夫］	2	・墨の濃さや筆・紙の種類による表現の違いを理解し，創造的な表現を工夫する。 ・文字と余白の関係を理解し，全体構成を考えた表現を身に付ける。	作品構想カード，学習成果（作品） 作品構想カード，学習成果（作品）
	作品鑑賞の部屋　みる・くらべる 近現代の漢字仮名交じりの書 ［コラム　人と書］ 高村光太郎・宮沢賢治	3	・近現代の漢字仮名交じりの書作品を鑑賞し，感じたことを自分のことばでまとめ，意見交換する。 ・書と人の関係について考える。	鑑賞カード 学習活動への参加状況や態度 学習の記録
	生活の中の書❶ はがき・手紙の書式 **生活の中の書❷** 金封の表書き・刻字の表札 **生活の中の書❸** 身のまわりの書 **書道で使用される筆墨硯紙のおもな生産地** **書道用語集** **書道史略年表** **中国・日本書道史関係地・資料参考地図**	適宜	・はがきや手紙の書式について学ぶ。 ・金封の書き方や刻字の基本を理解し，生活に生かす。 ・身のまわりの書に気づき，その効果について考える。 ・筆墨硯紙の日本の生産地について知る。 ・書道用語について理解する。 ・日本と中国の書の変遷について理解する。 ・中国と日本の書道の関係地について理解する。	学習成果（作品），「学習のまとめ」 学習成果（作品），「学習のまとめ」 学習の記録 学習活動への参加状況や態度 学習活動への参加状況や態度 学習活動への参加状況や態度 学習活動への参加状況や態度

〈学習内容についての補足説明〉

・毎時間学習内容は，「学習記録」に記録する。
・課題に応じて作品構想カードや制作カード，および学習成果（作品）を提出する。
・作品制作にあたり，どのようなことを表現しようとし，どのような工夫をしたかを作品構想カードや制作カードに記録していく。
・学習成果（作品）提出前に書いたもの（試書）などをファイルしておく。
・単元ごとに，「学習記録」・ファイル・制作カードとともに「学習のまとめ」を行い，自己評価する。
・自分の作品や友人の作品に対する鑑賞がどのように深まっていったかを，鑑賞カードなどを用いて確認する。

4.評価の観点・方法（年間の評定）

評価の観点及び内容		評価方法
書への関心・意欲・態度	・漢字仮名交じりの書の創造的活動の喜びを味わい，書の伝統と文化に関心をもって，主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 ・漢字の書の創造的活動の喜びを味わい，書の伝統と文化に関心をもって，主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 ・仮名の書の創造的活動の喜びを味わい，書の伝統と文化に関心をもって，主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 ・日常生活の書の効用や，書の伝統と文化について関心をもち，書のよさや美しさを感じ取り，主体的に鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	学習活動への参加状況や態度 学習の記録の記入状況 試書等の記録ファイルの整理状況 制作カードの記入状況
書表現の構想と工夫	・漢字仮名交じりの書のよさや，美しさを感じ取り，感性を働かせながら，自らの意図に基づいて構想し，表現を工夫している。 ・漢字の書のよさや美しさを感じ取り，感性を働かせながら，自らの意図に基づいて構想し，表現を工夫している。 ・仮名の書のよさや美しさを感じ取り，感性を働かせながら，自らの意図に基づいて構想し，表現を工夫している。	作品構想カードの記入状況 試書等の記録ファイルの整理状況 学習のまとめの内容
創造的な書表現の技能	・創造的な書表現をするために，漢字仮名交じりの書の基礎的な能力を生かし，効果的な表現の技能を身に付け表している。 ・創造的な書表現をするために，漢字の書の基礎的な能力を生かし，効果的な表現の技能を身に付け表している。 ・創造的な書表現をするために，仮名の書の基礎的な能力を生かし，効果的な表現の技能を身に付け表している。	制作カードの記入状況 学習成果（作品） 学習のまとめの内容
鑑賞の能力	・日常生活の書の効用，文字及び書の伝統と文化について幅広く理解し，その価値を考え，書のよさや美しさを創造的に味わっている。	学習活動への参加状況や態度 鑑賞カードの記入状況 学習のまとめの内容

書 Ⅰ ［書Ⅰ 306］ 準拠 評価規準例

教科書ページ	単元名	書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
口絵	文字の世界を旅しよう	文字について関心を持ち、世界の文字と漢字、仮名との相違点、共通点を理解しようとしている。	*	*	文字について関心を持ち、世界の文字と漢字、仮名との相違点、共通点を理解している。
1	［書へのいざない］書写から書道へ	国語科書写と芸術科書道の関係、高等学校での書道の学習の意義に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。中学書写での漢字と仮名の調和の学習を振り返り、意欲的に取り組もうとしている。	中学書写での漢字と仮名の調和の学習を振り返り、表現を工夫している。	中学書写で学習した漢字と仮名の調和を図る技能を身に付け表している。	国語科書写と芸術科書道の関係、高等学校での書道の学習の意義を理解している。
2～3	［書へのいざない］用具・用材	用具・用材に関する基本的な知識や扱い方に関心を持ち、理解しようとしている。	用具・用材の用い方を工夫している。	用具・用材を適切に用いる方法を身に付け表している。	*
4～5	［書へのいざない］姿勢・執筆法	基本的な姿勢・執筆法を身につけようとしている。	基本的な姿勢・執筆法を身に付け表そうと工夫している。	基本的な姿勢・執筆法を身に付け表している。	*
8～9	Introduction 書体の変遷	漢字の書体の変遷と仮名の誕生に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	*	*	漢字の書体の変遷と仮名の誕生について理解している。
10～11	Introduction 書の古典	書の古典の種類や鑑賞形式に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	*	*	書の古典の種類や鑑賞形式を理解している。
12～13	1 漢字の書の世界				古典に基づく学習の意義や、臨書について理解している。拓本の採り方を理解している。
14～15	①漢字の書の学習をはじめよう	古典に基づく学習の意義と臨書に関心を持っている。拓本の採り方について関心を持っている。	*	*	さまざまな楷書の古典の美とその技法について理解している。
16～31	②楷書の古典に学ぼう	さまざまな楷書の古典の美とその技法に関心をもち、表現技法を高めようとしている。筆者の感興や意図と字形や線質との関わりに関心をもち、意欲的、主体的に漢字の書の美を味わおうとしている。自らの感性や意図に基づいて、字形の構成や全体の構成を工夫しようとしている。表現活動を通して、意図的、主体的に表現の構想から完成に至るまでの充実感や喜びを味わおうとしている。	さまざまな楷書の古典の美とその技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。楷書の構築的な構造や変化と統一などを理解し、字形の構成や全体の構成を工夫している。楷書の美に対する感性を働かせて、自らの意図に基づいて表現を構想し、工夫している。	楷書の基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。用具・用材、線質、字形、全体の構成などの表現の技能を身に付け表している。	さまざまな楷書の古典の美とその技法について理解している。

教科書ページ	単元名	書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
24～25	［コラム 歴史の扉］世界に開かれた帝国・唐	唐時代の時代背景や、太宗と初唐の三大家について、理解を深めようとしている。	*	*	唐時代の時代背景や、太宗と初唐の三大家について理解している。
30～31	［コラム 祈りの書］写経・造像記	写経や造像記の内容と美しさについて、理解を深めようとしている。	*	*	写経や造像記の内容と美しさについて理解している。
32～33	作品鑑賞の部屋 みる・くらべる 近現代の漢字の書❶	近現代の漢字の書作品に関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。	*	*	近現代の漢字の書作品を鑑賞し、表現の意図やそれぞれの美しさを創造的に味わっている。
34～57	③行書の古典に学ぼう	さまざまな行書の古典の美とその技法に関心をもち、表現技法を高めようとしている。筆者の感興や意図と字形や線質との関わりに関心をもち、意欲的、主体的に漢字の書の美を味わおうとしている。自らの感性や意図に基づいて、字形の構成や全体の構成を工夫しようとしている。表現活動を通して、意図的、主体的に表現の構想から完成に至るまでの充実感や喜びを味わおうとしている。	行書の美とその技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。行書の変化と統一などを理解し、字形の構成や全体の構成を工夫している。行書の美に対する感性を働かせて、自らの意図に基づいて表現を構想し、工夫している。	行書の基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。用具・用材、線質、字形、全体の構成などの表現の技能を身に付け表している。	唐時代の時代背景や、太宗と初唐の三大家について理解している。写経や造像記の内容と美しさについて理解している。近現代の漢字の書作品を鑑賞し、表現の意図やそれぞれの美しさを創造的に味わっている。さまざまな行書の古典の美とその技法について理解している。
38～39	［コラム 人と書］書聖王羲之	王羲之の書と人について、理解を深めようとしている。	*	*	王羲之の書と人について理解している。
52～53	［コラム 歴史の扉］大陸文化の摂取と天平の美術	奈良～平安時代における日本と中国の文化交流の歴史に関心を持ち、理解を深めようとしている。	*	*	奈良～平安時代における日本と中国の文化交流の歴史について理解している。
54～55	［コラム 士大夫の書］蘇軾・黄庭堅・米芾	蘇軾・黄庭堅・米芾の書と人に関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。	*	*	蘇軾・黄庭堅・米芾の書と人について理解している。
58～59	作品鑑賞の部屋 みる・くらべる 近現代の漢字の書❷	近現代の漢字の書作品に関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。	自己の表現の狙いを達成するために、古典のもつ伝統的な美を感受し、表現を構想し工夫している。	*	近現代の漢字の書作品を鑑賞し、表現の意図やそれぞれの美しさを創造的に味わっている。鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、漢字の書のよさや美しさを感じ取っている。
60～61	〈表現の窓〉漢字の書の作品制作	漢字の書の作品制作に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	篆書の古典のもつ伝統的な美を感受し、表現を構想し工夫している。	創造的な書表現をするために、用具・用材、線質、字形、全体の構成などの表現の技能を身に付け表している。	篆書が生活の中で果たしている役割を知り、その効用を理解している。
62～63	④篆書に親しもう	身の回りの篆書に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。	篆刻の技法を学び、自らの意図に基づいて表現を構想し工夫している。	*	落款の意味とその役割について理解している。篆刻の意義と技法について理解している。
64～67	〈表現の窓〉篆刻・印を刻る	落款の意味とその役割について関心を持っている。篆刻に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	篆刻の技法を理解し、姓名印を刻す技能を身に付け表している。	篆刻の技法を理解し、姓名印を刻す技能を身に付け表している。	篆刻の意義と技法について理解している。
68～71	⑤隷書に親しもう	身の回りの隷書に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。	隷書の古典のもつ伝統的な美を感受し、表現を構想し工夫している。	*	隷書が生活の中で果たしている役割を知り、その効用を理解している。

教科書ページ	単元名	書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
72～73	⑥草書に親しもう	身の回りの草書に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。	草書の古典のもつ伝統的な美を感受し、表現を構想し工夫している。	*	草書が生活の中で果たしている役割を知り、その効用を理解している。
74～75	2仮名の書の世界				
76～77	Introduction 仮名の成立	仮名の成立に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	*	*	仮名の成立について理解している。
78～79	①仮名の書の学習をはじめよう	仮名の用具・用材に関する基本的な知識や扱い方に関心を持ち、理解しようとしている。仮名の表現技法の基礎・基本を身に付け、書写能力の向上に努めている。	用具・用材によって線質や表現が変わることを理解し、表現を工夫している。	用具・用材を適切に用いる方法を身に付け表している。 表現技法を高めるために、姿勢、執筆法などの基本的事項を身に付け表している。	*
80～99	②仮名の書の古典に学ぼう	平安時代の古筆の美とその技法に関心を持ち、表現技法を高めようとしている。	仮名の書の美とその技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。 単体、連綿や全体の構成など、日本の伝統的な書の美を感受し、表現を工夫している。	仮名の基本的な線質と用筆・運筆との関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。 運筆の律動性や筆脈の把握を通して、仮名の美の特質を理解し、その技法を身に付け表している。	平安時代のさまざまな古筆の美とその技法について理解している。
84～85	いろは歌	表現技法の基礎・基本を身に付け、書写能力の向上に努めている。	日本の伝統的な書の美を感受し、表現を工夫している。	仮名の基本的な線質と用筆・運筆との関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。	仮名の基本的な線質と用筆・運筆との関係を理解している。
86～87	変体仮名	変体仮名に関心を持ち、表現技法の基礎・基本を身に付け、書写能力の向上に努めている。	日本の伝統的な書の美を感受し、表現を工夫している。	仮名の基本的な線質と用筆・運筆との関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。	変体仮名の字源やくずし方、作品制作上の効用などを理解している。
88～89	「コラム　文学と書」 平安時代の文学と仮名	平安時代の貴族文化と文学、仮名の関係について関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。		*	平安時代の貴族文化と文学、仮名の関係について理解している。
100～101	作品鑑賞の部屋　みる・くらべる 近現代の仮名の書	近現代の仮名の書作品に関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。		*	近現代の仮名の書作品を鑑賞し、表現の意図やそれぞれの美しさを創造的に味わっている。
104～105	3漢字仮名交じりの書の世界				
106～107	Introduction 漢字仮名交じりの書の変遷	漢字仮名交じりの書の変遷に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。		*	漢字仮名交じりの書の変遷を理解している。

108～109	①漢字仮名交じりの書の学習をはじめよう	漢字仮名交じりの書の表現に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	漢字と仮名の調和した線質の表し方やその美しさを理解し、表現を工夫している。	漢字と仮名の線質の調和を図る技能を身に付け表している。	漢字と仮名の調和した表現について理解している。
110～111	〈表現の窓〉 古典に表現を学ぶ	古典や名筆のよさや美しさに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 表現の構想から完成に至るまで、意欲的、主体的に表現活動に取り組もうとしている。	古典や名筆の美しさを感じ取り、自己の表現の狙いを達成するために、自らの表現意欲を高め、表現を工夫している。	古典や名筆のよさや美しさを生かして表現する技能を身に付け表している。	古典や名筆のよさや美しさを生かして表現することを理解している。
112～113	②自分らしい表現を求めて ［用具・用材の工夫］	用具・用材と表現との関係に関心をもち、意欲的、主体的な表現に取り組もうとしている。	用具・用材によって線質や表現が変わることを理解し、表現を工夫している。	用具・用材の特性を生かした表現効果を理解し、表現に応じた用具・用材を選択している。 創造的な書表現をするために、用具・用材と表現効果が密接に関係していることを理解している。	用具・用材の特性を生かすことで、表現効果が上がることを理解している。
114～115	③自分らしい表現を求めて ［紙面構成の工夫］	紙面構成を工夫することに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	効果的に表現するため、文字の大きさや配置、行の長さや行間を工夫している。	文字や文字群と余白との関係を理解し、全体の構成を考えた表現の技能を身に付け表している。	紙面全体の構成を工夫することで、表現効果が上がることを理解している。
116～117	作品鑑賞の部屋　みる・くらべる 近現代の漢字仮名交じりの書	近現代の漢字仮名交じりの書作品に関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。	*	*	近現代の漢字仮名交じりの書作品を鑑賞し、表現の意図やそれぞれの美しさを創造的に味わっている。
116～117	作品鑑賞の部屋　みる・くらべる 近現代の漢字仮名交じりの書	近現代の漢字仮名交じりの書作品に関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。	*	*	近現代の漢字仮名交じりの書作品を鑑賞し、表現の意図やそれぞれの美しさを創造的に味わっている。
118～119	［コラム　人と書］ 高村光太郎・宮沢賢治	高村光太郎と宮沢賢治の書と人物について関心を持ち、その関係を理解しようとしている。		*	高村光太郎と宮沢賢治の書と人物について理解し、その書のよさを創造的に味わっている。
120～124	生活の中の書❶❷❸ はがき・手紙の書式 金封の表書き 刻字の表札	くらしの中に書を生かそうとしたり、くらしに生きる書に関心を持っている。	書道の学習で身に付けたことを生かして、くらしの中に書を生かす工夫をしている。	書道の学習で身に付けたことを生かし、くらしの中に書を生かすことができる。	*

書Ⅱ	単位数	2 単位	担当者	
	学科・学年・学級 使用教科書・副教材等	○○科 書Ⅱ	第○学年 書Ⅱ 306	○○組 教育図書

スマホ・携帯でシラバス他資料を見る

1.学習の目標

・表現と鑑賞の幅広い活動を通して，書を愛好する心情を育てる。
・漢字の書，仮名の書，漢字仮名交じりの書に親しむ活動を通して感性を高め，書の文化や伝統についての理解を深める。
・様々な場面に対応できる書写能力を養いながら，主体的に自己を表現するための書の能力を高める。

2.科目の特色（目標を実現するための重要点を含む）

・文字やことばを素材とした書の表現や鑑賞の活動を中心とし，さまざまな題材について，自身の構想をもとにした書の表現を展開していく。
(1)「漢字仮名交じりの書」の学習では，自らの思いや感動を表す語句を選び，漢字や仮名の古典の学習にも芸術的な表現を高めるとともに，実用的な表現形式にも生かし高めていく。
(2)「漢字の書」の学習では，さまざまな書体や書風にふれることによって書の鑑賞と表現の能力を高め，それらを創作に生かしていく。
(3)「仮名の書」の学習では，さまざまな書風にふれることによって，仮名の書の美や表現方法を学び，表現技術を高め，それらを創作に生かしていく。

3.学習計画及び評価［すべての領域を学習する場合］

学期	単元名	月	学習活動	評価方法
1	**書との出合いを楽しもう**	適宜	・日常生活の中で，積極的に書と関わる姿勢を養う。	学習活動への参加状況や態度
	鑑賞へのいざない 喪乱帖 石山切	適宜	・喪乱帖を鑑賞し，双鉤塡墨の技法やその価値について理解を深める。 ・石山切を鑑賞し，日本人の美意識と仮名の書の美について話し合い，鑑賞力を高める。	学習活動への参加状況や態度 学習活動への参加状況や態度
	1.漢字の書の世界 **①篆書の古典に学ぼう** ［コラム　人と書］清時代の篆書と篆刻	4	・篆書の変遷を知る。 ・小篆・大篆の臨書や鑑賞の学習により，篆書の基本的な用筆，運筆，結構を理解する。 ・甲骨文・金文の特徴を学び，創意工夫のある表現の技能を身に付ける。 ・清時代の篆書と篆刻について知り，作品を鑑賞して感じたことを話し合い，鑑賞力を高める。	学習活動への参加状況や態度 学習活動への参加状況や態度 試書等の記録ファイル， 学習の記録 鑑賞カード，レポート
	②篆刻・刻字に学ぼう 〈表現の窓〉姓名印の制作 〈表現の窓〉刻字（陰刻）の作品制作 **③隷書の古典に学ぼう** ［コラム　文人の世界］清時代の隷書	5 6	・印の歴史と，近現代の印人の印について理解を深める。 ・姓名印を制作し，篆刻の表現技法を理解する。 ・刻字作品を制作し，立体的な書表現について理解を深める。 ・隷書の変遷を知る。 ・臨書や鑑賞の学習により，さまざまな書風の隷書古典の用筆，運筆，結構を学び，創意工夫のある表現の技能を身に付ける。 ・清時代の文人について知り，作品を鑑賞して感じたことを話し合い，鑑賞力を高める。	学習活動への参加状況や態度 篆刻実習カード，学習成果（作品） 刻字実習カード，学習成果（作品） 試書等の記録ファイル， 学習の記録 鑑賞カード，レポート
	④草書の古典に学ぼう ［コラム　連綿の書］率意と用意	7	・草書の変遷を知る。 ・臨書や鑑賞の学習により，さまざまな書風の草書古典の用筆，運筆，結構を学び，創意工夫のある表現の技能を身に付ける。 ・率意の書と用意の書について学び，それぞれの美しさや表現の魅力について話し合い，鑑賞力を高める。	試書等の記録ファイル， 学習の記録 鑑賞カード，レポート
2	**⑤行書の古典に学ぼう** ［コラム　歴史の扉］文化の国風化と和様 **⑥楷書の古典に学ぼう** ［コラム　人と書］鍾繇・王羲之 作品鑑賞の部屋　みる・くらべる 近現代の漢字の書 〈表現の窓〉漢字の書の作品制作	9 10	・臨書や鑑賞の学習により，さまざまな書風の行書古典の用筆，運筆，結構を学び，創意工夫のある表現の技能を身に付ける。 ・平安時代の三跡と和様の書、国風文化の関係について理解を深める。 ・臨書や鑑賞の学習により，さまざまな書風の楷書古典の用筆，運筆，結構を学び，創意工夫のある表現の技能を身に付ける。 ・鍾繇と王羲之の書と，影響を受けた人々の書を鑑賞し，感じたことを話し合い，鑑賞力を高める。 ・近現代の漢字の書作品を分析的に鑑賞し，感じたことを話し合い，自らの鑑賞力を高める。 ・自らの思考や感動を表現できる語句を選び，各書体の特徴を生かした表現を工夫する。	試書等の記録ファイル， 学習の記録 鑑賞カード，レポート 鑑賞カード 作品構想カード，学習成果（作品）， 「学習のまとめ」
	2.仮名の書の世界 **①仮名の書の美を知ろう** **②仮名の書の古典に学ぼう** ［コラム　人と書］日本人の美意識	11 12	・平安時代の古筆の変遷を学び，仮名の書の美の特徴を理解する。 ・臨書や鑑賞の学習により，さまざまな古筆の用筆，運筆，構成を学び，創意工夫のある表現の技能を身に付ける。 ・仮名の書の学習を通して，日本の伝統文化を理解し，日本人の美意識について考える。	学習活動への参加状況や態度 学習活動への参加状況や態度 試書等の記録ファイル， 学習の記録 鑑賞カード，レポート

学期	単元名	月	学習活動	評価方法
	連綿・平仮名・変体仮名一覧 作品鑑賞の部屋　みる・くらべる 近現代の仮名の書 〈表現の窓〉仮名の書の作品制作		・平仮名，変体仮名，連綿のさまざまな表現技法を学び，自身の作品制作に生かす。 ・近現代の仮名の書作品を分析的に鑑賞し，感じたことを話し合い，自らの鑑賞力を高める。 ・自らの思考や感動を表現できる語句を選び，仮名の書の特徴を生かした表現を工夫する。 ・用具・用材や形式，紙面構成などを工夫し，作品を制作する。	学習の記録，作品構想カード 鑑賞カード 作品構想カード、学習成果（作品）， 「学習のまとめ」
3	**3.漢字仮名交じりの書の世界** **①思い・ことば・書** 〈表現の窓〉漢字仮名交じりの書の作品制作 **②古典に表現を学ぼう** ［コラム　人と書］森田安次 作品鑑賞の部屋　みる・くらべる 近現代の漢字仮名交じりの書	1 2 3	・思いとことばと書の表現の関係について考え，作品を構想する。 ・自らの思いや感動を表現する語句を選び，作品を構想する。 ・用具・用材や，作品の形式，紙面構成などを工夫し，作品を制作する。 ・自己の表現の意図やねらいを達成するために，漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫する。 ・森田安次を例に，作品制作の動機や表現の構想について理解を深める。 ・近現代の漢字仮名交じりの書作品を分析的に鑑賞し，感じたことを話し合い，自らの鑑賞力を高める。	学習活動への参加状況や態度 作品構想カード，試書等のファイル 作品構想カード,学習成果（作品） 作品構想カード，学習成果（作品）， 「学習のまとめ」 鑑賞カード，レポート 鑑賞カード
	生活の中の書　生活に書を生かそう **書道用語集** **書を収蔵する日本のおもな美術館・博物館** **書の変遷を知ろう** **中国・日本書道史関係地・資料参考地図**	適宜	・日常生活における書の効用について考え，生活の中へ積極的に書を取り入れるようにする。 ・書道用語について理解する。 ・書を収蔵する日本のおもな美術館・博物館について知る。 ・日本と中国の書の変遷について理解する。 ・中国と日本の書道の関係地について理解する。	学習成果（作品） 学習活動への参加状況や態度 学習活動への参加状況や態度 学習活動への参加状況や態度 学習活動への参加状況や態度

［漢字仮名交じりの書と漢字の書領域を選択して学習する場合］
「3.漢字仮名交じりの書の世界」を2学期11月より学習する。その他の項目は，上記学習計画に準ずる。

〈学習内容についての補足説明〉
・毎時間学習内容は，「学習記録」に記録する。
・課題に応じて作品と作品構想カードや制作カード，および学習成果（作品）を提出する。
・作品制作にあたり，どのようなことを表現しようとし，どのような工夫をしたかを作品構想カードや制作カードに記録していく。
・学習成果（作品）提出前に書いたもの（試書）などをファイルしておく。
・単元ごとに，「学習記録」・ファイル・制作カードとともに「学習のまとめ」を行い，自己評価する。
・自分の作品や友人の作品に対する鑑賞がどのように深まっていったかを，鑑賞カードなどを用いて確認する。

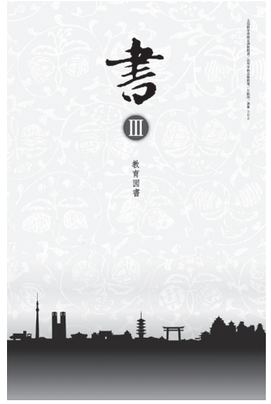
4.評価の観点・方法（年間の評定）

評価の観点及び内容		評価方法
書への関心・意欲・態度	・さまざまな書の美に関心をもち，主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。 ・漢字仮名交じりの書の学習を通して，主体的に表現する能力を高め，実用的な表現や芸術的な表現の基礎的，発展的技能を積極的に身に付けようとしている。 ・漢字の書の学習を通して，多様な書法を意欲的，主体的に学び，古典の美と価値を感じとろうとしている。 ・仮名の書の学習を通して，多様な書法を意欲的，主体的に学び，古典の美と価値を感じとろうとしている。 ・鑑賞活動を通して，書を愛好し，日常生活における書への関心を高め，積極的にその美を味わおうとしている。	学習活動への参加状況や態度 学習の記録の記入状況 試書等の記録ファイルの整理状況 制作カードの記入状況 学習成果（作品） 学習のまとめの内容 作品構想カードの記入状況 学習成果（作品） 学習のまとめの内容
書表現の構想と工夫	・古典の特徴を捉え，習得した技法を自身の表現活動に生かしている。 ・感性を働かせながら，自らの意図に基づいて構想し，表現を工夫している。 ・感性や鑑賞能力を高めるための工夫をしている。	学習成果（作品） 作品構想カードの記入状況 学習のまとめの内容
創造的な書表現の技能	・自らの意図に基づいて構想し，創意工夫のある表現の技能を身に付け表している。 ・漢字仮名交じりの書，漢字の書，仮名の書の学習で習得した表現の能力を生かし，創造的な表現の技能を身に付け表している。 ・目的や用途に応じた書表現をするために，効果的な表現の技能を身に付け表している。	制作カードの記入状況 学習成果（作品） 学習のまとめの内容
鑑賞の能力	・書の美の多様性，書が生活の中で果たしている役割，書の文化や伝統を理解し，その良さや美しさを深く味わっている。 ・自身や他者の作品を客観的に観察し，その特質を的確にとらえ，自己の創作活動に生かすことができる。	学習活動への参加状況や態度 鑑賞カードの記入状況 学習のまとめの内容

書 Ⅲ ［6教図　書Ⅲ　302］ 準拠シラバス案

書Ⅲ	単位数	2 単位	担当者	
	学科・学年・学級 使用教科書・副教材等	○○科 書Ⅲ	第○学年 書Ⅲ 302	○○組 教育図書

スマホ・携帯でシラバス他資料を見る



1.学習の目標

・書道における表現と鑑賞の創造的な活動を通して，書を愛好する心情を育てる。
・書に親しむ活動を通して感性を高め，書の文化や伝統についての理解を深める。
・様々な場面に対応できる書写能力を育てながら，主体的に自己を表現する能力を高める。

2.科目の特色（目標を実現するための重要点を含む）

・文字を素材とした表現活動を中心とし，さまざまな題材について表現のねらいをもちながら自己表現を展開していく。
(1)「漢字仮名交じりの書」の学習では，身近にある題材や自らの思いや感動を表す語句を選び芸術的な表現を高めるとともに，実用的な表現形式にもその技法や知識を生かしていく。
(2)「漢字の書」の学習では，個性的な書風の幅広い古典にふれることによって表現と鑑賞の能力を高め，それらを創作に生かしていく。
(3)「仮名の書」の学習では，幅広い書風の古典にふれることによって表現と鑑賞の能力を高め，それらを創作に生かしていく。

3.学習計画及び評価［すべての領域を学習する場合］

学期	単元名	月	学習活動	評価方法
1	**書と文化**	4	・書は，先人たちの創造力と，他の芸術や文化，思想，文学，政治，社会などとが密接に関連しながら長い歴史の間に築かれてきた文化であることを理解する。	学習活動への参加状況や態度 レポート 「学習のまとめ」
	①漢字の書の美と文化 甲骨文・小臣艅犧尊 散氏盤・郭店楚簡 長沙子弾庫楚帛書 ◆簡牘の世界 開通褒斜道刻石・礼器碑 西嶽華山廟碑・西狭頌 張遷碑 李柏尺牘稿・平復帖・喪乱帖 薦季直表・楽毅論 魏霊蔵造像記・高貞碑 皇甫誕碑・枯樹賦 草書千字文	5 6 7	・臨書や鑑賞を通して，篆書古典のもつ時代性や精神性への理解を深め，個性的，創造的な表現を工夫する。 ・自己の感興や意図を実現するために，主体的に構想を具体化し，書体や書風，線質や全体の構成を工夫する。 ・戦国・秦・漢時代の日常の筆写の実態を理解する。 ・臨書や鑑賞を通して，隷書古典のもつ時代性や精神性への理解を深め，個性的，創造的な表現を工夫する。 ・自己の感興や意図を実現するために，主体的に構想を具体化し，書体や書風，線質や全体の構成を工夫する。 ・臨書や鑑賞を通して，三国～唐時代の古典のもつ時代性や精神性への理解を深め，個性的，創造的な表現を工夫する。 ・自己の感興や意図を実現するために，主体的に構想を具体化し，書体や書風，線質や全体の構成を工夫する。	学習活動への参加状況や態度 ※鑑賞カード（適宜） 試書等の記録ファイル 作品構想カード・制作カード 学習成果（作品） レポート 試書等の記録ファイル 作品構想カード・制作カード 学習成果（作品） ※鑑賞カード（適宜） 試書等の記録ファイル 作品構想カード・制作カード 学習成果（作品）
2	◇日本上代の金石文 灌頂歴名・李嶠詩雑詠 白氏詩巻・離洛帖 黄州寒食詩巻・李太白憶旧遊詩巻・李太師帖 金剛経・玄妙観重脩三門記 ■墨跡と茶の湯 臨王筠寒凝帖軸・草書五律詩軸・隷書文語横披 篆書張茂先励志詩四屏 行書山谷題跋語四屏・芍薬図 篆刻 ◉落款と印の用い方 ◉側款	9 10 11	・日本上代の金石文の特徴や歴史，風土との関わりついて理解する。 ・臨書や鑑賞を通して，平安時代の古典のもつ時代性や精神性への理解を深め，個性的，創造的な表現を工夫する。 ・自己の感興や意図を実現するために，主体的に構想を具体化し，書体や書風，線質や全体の構成を工夫する。 ・臨書や鑑賞を通して，宋～元時代の古典のもつ時代性や精神性への理解を深め，個性的，創造的な表現を工夫する。 ・自己の感興や意図を実現するために，主体的に構想を具体化し，書体や書風，線質や全体の構成を工夫する。 ・墨跡と茶の湯の関係を理解する。 ・臨書や鑑賞を通して，明～清時代の古典のもつ時代性や精神性，中国文人たちの美意識への理解を深め，個性的，創造的な表現を工夫する。 ・自己の感興や意図を実現するために，主体的に構想を具体化し，書体や書風，線質や全体の構成を工夫する。 ・近現代の名家の印を鑑賞または摹刻し，刀法や章法などの表現技法を理解する。 ・落款の形式や側款について理解する。	レポート 試書等の記録ファイル 作品構想カード・制作カード 学習成果（作品）・学習の記録 ※鑑賞カード（適宜） 試書等の記録ファイル 作品構想カード・制作カード 学習成果（作品）・学習の記録 ※鑑賞カード（適宜） レポート 試書等の記録ファイル 作品構想カード・制作カード 学習成果（作品）・学習の記録 「学習のまとめ」 篆刻実習カード・学習成果（作品） 学習の記録 ※鑑賞カード（適宜）
	②仮名の書の美と文化 秋萩帖 和歌・俳句　あきのひに	12	・臨書や鑑賞を通して，草仮名の古典の特徴を理解し，個性的，創造的な表現を工夫する。	学習活動への参加状況や態度 試書等の記録ファイル 学習成果（作品）・学習の記録

学期	単元名	月	学習活動	評価方法
3	■和歌と古筆切 本阿弥切古今和歌集 ◇料紙装飾と書の調和 金沢本万葉集 針切・香紙切 一条摂政集・中務集 ◇手紙の書	1	・古今和歌集の成立と写本の伝来について理解を深める。 ・臨書や鑑賞を通して，平安時代の仮名の古典のもつ時代性や精神性への理解を深め，個性的，創造的な表現を工夫する。 ・仮名の書の様式美や装飾美を理解する。 ・自己の感興や意図を実現するために，主体的に構想を具体化し，書体や書風，線質や全体の構成を工夫する。 ・手紙を鑑賞し，率意の書について考える。	レポート 試書等の記録ファイル 作品構想カード・制作カード 学習成果（作品）・学習の記録 ※鑑賞カード（適宜） 「学習のまとめ」 鑑賞カード
	③漢字仮名交じりの書の美と文化 漢字の各書体に調和する 仮名の工夫 粗密が描く紙面の均衡 響き合う行と余白 流れと躍動する書線 ◆自分自身の表現を求めて ◉漢字仮名交じりの書の流れ ◆思いとことばをつむぐ「書」 ◇近現代のさまざまな試み ◉未来を彩る	2	・漢字の各書体や書風に調和する仮名の表現について考え，創造的な表現を工夫する。 ・自らの思いや感動を表現することばと書表現との関係について考え，個性的，創造的な表現を工夫する。 ・作品から感じたことを他者に伝え，受け止め補完し合う。 ・現代の書とは，伝統と文化を生かしながら，現代のことばを個性的，創造的に表現するものであることを理解する。 ・書の表現によって思いが伝わることを理解する。 ・近現代の前衛的な書表現を鑑賞し，現代の書の意義について考える。 ・書の伝統と文化を理解し，現代における書の意義について考察する。	学習活動への参加状況や態度 試書等の記録ファイル 作品構想カード・制作カード 学習成果（作品）・学習の記録 ※鑑賞カード（適宜） 鑑賞カード 学習の記録 鑑賞カード レポート ※鑑賞カード（適宜） レポート・「学習のまとめ」

〈学習内容についての補足説明〉

・課題に応じて作品構想カードや制作カードと学習成果（作品）を提出する。
・単元ごとに「学習のまとめ」を行い，自己評価する。
・古典や自分の作品，友人の作品に対する鑑賞がどのように深まっていったかを鑑賞カードなどを用いて確認する。

※書Ⅲでは，科目の性格からすれば次のように学習を展開することもできる。

［表現を主体に学習する場合］

（例1）生徒が自らの興味・関心に基づき，漢字の書，仮名の書から1～2点を選択し，各々の古典を深く学習する。

学習活動
・自らの興味・関心に基づき，学習する古典を選択する。 ・選択した古典の書風や，用筆法・運筆法などの特徴を把握する。 ・多角的に古典を分析し，その書風の特徴を生かした創造的な表現を工夫する。 ・選択した古典の時代性や精神性について理解を深める。

（例2）各書体ごと，あるいは時代や特徴などでいくつかの学習項目を示し，同じ項目を選択した生徒同士でグループ学習をする。

学習活動
・学習項目の内容を的確に理解し，自らの興味・関心に基づき，学習する内容を選択する。 ・相互評価を行うなど，よりよい表現活動の展開を工夫する。 ・作品を生徒同士で鑑賞し合い，課題を見つけ，良さを認め合うなど，他者を尊重する態度を養う。

［鑑賞を主体に学習する場合］

（例）生徒各自が，担当する古典を選択し，調べ学習による成果を発表し合う。

学習活動
・様々な古典を鑑賞し，その中から調べ学習をしてみたいと考える古典を選択する。 ・書の古典を理解するために，何をどのように調べる必要があるのか考え，実践してみる。美術館・博物館や図書館，インターネットなどを活用する。 ・他の学習者の発表内容を理解し，鑑賞の視野を広げるようにする。

4.評価の観点・方法（年間の評定）

評価の観点及び内容		評価方法
書への関心・意欲・態度	・書道の創造的な諸活動を通して，生涯にわたり書を愛好する心情や，書の伝統と文化を尊重する態度を身につけようとしている。	学習活動への参加状況や態度 学習の記録やカードの記入状況 試書等の記録ファイルの整理状況 学習成果（作品）・学習のまとめの内容
書表現の構想と工夫	・感性を磨き，創造性豊かな表現を工夫している。 ・確かな書の表現技法を習得し，それを生かしてより自由で個性的な書の表現を工夫している。	カードの記入状況 学習成果（作品） 学習のまとめの内容
創造的な書表現の技能	・自己の感興や意図を実現するため構想を具現化し，主体的に個性的・創造的な表現をすることができる。	カードの記入状況 学習成果（作品）・学習のまとめの内容
鑑賞の能力	・鑑賞や書論の講読などの活動を通して，書の伝統と文化について理解している。 ・書と生活や諸文化との関わりについて理解している。	学習活動への参加状況や態度 鑑賞カードの記入状況 学習成果（作品）・学習のまとめの内容

検討の観点と内容の特色

「書Ⅰ 306」・「書Ⅱ 306」
「書Ⅰ 302」・「書Ⅱ 302」・「書Ⅲ 302」

	内容の選択・程度	組織・配列・分量	表記・表現及び使用上の便宜	総合所見
	●学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 ●基礎的、基本的事項の理解や、その習得のため、適切な配慮がなされているか。	●内容の組織、配列、分量は、学習指導を有効に進められるように配慮されているか。	●学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ●用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 ●印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。	●左記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴
書Ⅰ 6教図　書Ⅰ 302	●書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、書道の基礎的な能力を伸ばすよう、表現と鑑賞の関連を図りながら各領域が適切に構成されている。 ●導入部分は、親しみやすいイラストや写真・図版により、中学書写からの移行がスムーズに行えるような工夫がされている。また、実生活との関連を図った体験的な学習や、地域社会との関連を図るような内容にも触れ、幅広い学習が展開できるように配慮されている。 ●「漢字の書」「仮名の書」では、唐代の楷書と王羲之の行書、平安時代の古筆を軸に、各時代・各書体を代表する古典が精選されている。また、現場の実態に応じて、篆書・隷書・草書、篆刻・刻字の基礎的な学習ができるように配慮されている。 ●「漢字仮名交じりの書」では、感興や意図を実現するため名筆を参考にしたり、使用する用具・用材を工夫するなど、主体的に表現の構想を具体化できるように配慮されている。 ●解説は、簡潔でわかりやすい表現を用い、古典には釈文・訓読・大意を付すことで自学・自習も可能なように配慮されている。	●導入は、中学書写の学習内容を振り返るとともに、高等学校芸術科書道の学習を概観することで、生徒が見通しを立てて書道Ⅰの学習に取り組めるように配慮されている。なお、中学書写との関連に配慮し、導入は「漢字仮名交じりの書」の学習材を中心に展開されている。 ●「漢字の書」「仮名の書」では、基本的な古典が系統的に配列され、用筆や運筆、字形の取り方などの基礎・基本を押さえながら臨書や鑑賞を行い、さらに、自己の意図に基づく創作へと展開できるような構成になっている。 ●「漢字仮名交じりの書」では、ことばと書表現の関係を意識しながら、漢字と仮名の調和した表現を目指し、古典や名筆を参考にしたり、用具・用材に配慮した表現や紙面構成の工夫など、幅広い学習が展開できる構成になっている。	●領域冒頭の扉、領域ごとに色分けされたタイトル、読みやすい書体と文字の大きさに配慮するなど、視覚的に理解しやすくする工夫がされている。 ●扉に各領域の導入の役割を持たせ、各領域の最後には、「くらしの中の書」を設けて、学習したことを生活に生かす態度を養うように配慮されている。 ●解説の表現は平易であり、難解な語句や覚えたい用語にはふりがなを付して、学習効果を上げる配慮がされている。 ●内容に親しみやすさが感じられるように、文房四宝のキャラクターや、男の子・女の子のイラストを効果的に登場させ、学習意欲を高める工夫がされている。 ●各領域に、書への興味・関心を喚起したり、 課題の発見や解決能力を養うことを踏まえ、「覚えよう」「話し合おう」「やってみよう」「参考にしよう」の囲みを設けている。 ●拓本や肉筆の各図版は、表現と鑑賞双方に対応できるよう高精細で実物に近い色彩を再現している。拡大図版も、迫力があり、鮮明で美しく、大胆な紙面構成で臨場感に溢れている。	●「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の三分野とも、書道Ⅰの学習に必要な学習材が、系統的・段階的にバランスよく取り上げられている。 ●ゆったり配置された原寸の古典や、拡大図版、効果的に色分けされた扉やタイトル、親しみやすいイラストなどが生徒の学習意欲を引き出し、効果的に学習が進められるように工夫されている。 ●判型を生かした迫力ある紙面、鮮明で美しい図版、活用しやすい折込ページの配置により、表現と鑑賞双方の学習が充実して展開できるように工夫されている。 ●印刷において、再生紙や植物油インキを使用することで、環境への配慮がされている。
書Ⅱ 6教図　書Ⅱ 302	●書道の創造的な諸活動を通して、個性豊かな表現の能力を高めるため、表現と鑑賞相互の関連を図りながら各領域が適切に構成されている。 ●「漢字の書」は、各書体の代表的な古典を系統的・段階的に取り上げ、書道Ⅰで既出の篆書・隷書・草書についても、基本的な事項から学習できるように配慮されている。 ●「仮名の書」は、平安時代の代表的な古筆を系統的・段階的に取り上げ、表現と鑑賞相互の関連を図りながら学習できるように配慮されている。 ●「漢字仮名交じりの書」は、ことばと書表現の関係について深く追求する姿勢を養い、名筆による学習を基盤として主体的に創作が展開できるように配慮されている。	●「漢字の書」「仮名の書」は、各書体の成立や変遷の学習に始まり、各時代を代表する古典の臨書・鑑賞の学習が系統的に行えるような構成になっている。また、自己の意図に基づき主体的に創作が行えるような構成になっている。 ●「漢字仮名交じりの書」は、ことばと書表現の関係について深く追求しつつ、自己の意図に基づいて構想を具体化し、創造性豊かな表現を展開することができるような構成になっている。 ●書の変遷を、周辺文化とともに理解できるように配慮されている。	●領域冒頭の扉、領域ごとに色分けされたタイトル、読みやすい書体と文字の大きさに配慮するなど、視覚的に理解しやすくする工夫がされている。 ●解説の表現は平易であり、難解な語句や覚えたい用語にはふりがなを付して、学習効果を上げる配慮がされている。 ●各領域に、課題の発見や解決能力を養うことを踏まえ、「覚えよう」「話し合おう」「やってみよう」「参考にしよう」の囲みを設けている。 ●拓本や肉筆の各図版は、表現と鑑賞双方に対応できるよう高精細で実物に近い色彩を再現している。拡大図版も、迫力があり、鮮明で美しく、大胆な紙面構成で臨場感に溢れている。	●「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の三分野とも、書道Ⅱの学習に必要な学習材が、系統的・段階的にバランスよく取り上げられている。 ●判型を生かした迫力ある紙面、鮮明で美しい図版により、表現と鑑賞双方の学習が充実して展開できるように工夫されている。 ●印刷において、再生紙や植物油インキを使用することで、環境への配慮がされている。
書Ⅲ 6教図　書Ⅲ 302	●書道の創造的な幅広い活動を通して感性を磨き、個性豊かな表現の能力を高めるため、表現と鑑賞相互の関連を図りながら各領域が適切に構成されている。 ●「漢字の書」は、各書体の代表的な古典を幅広く取り上げ、近年出土した資料や近現代の作品を偏りなく網羅し、書道Ⅲにふさわしい発展的な学習が展開できるように配慮されている。 ●「仮名の書」は、平安時代の古筆の多様な美を理解することができるよう、基本的な古筆から個性的な用筆や線質の古筆まで、幅広く取り上げている。 ●「漢字仮名交じりの書」は、名筆の鑑賞により感性を刺激し、個性的で創造性豊かな創作が行えるように配慮されている。	●「漢字の書」「仮名の書」は、各時代を代表する古典の臨書・鑑賞の学習が系統的・発展的に行えるような構成になっており、 随所で新たな世界を創造した先人たちの書を取り上げ、創作の参考となるように配慮されている。 ●書に対する考え方、学書の方法論、古典の評論、鑑賞に関する理論など、書について総合的に理解を深めることができるよう随所に書論を取り上げている。 ●近現代の前衛的な表現を鑑賞したり、未来へ向けて思考する単元を最後に設け、現代における書の意義について考察することができるように配慮されている。	●書の文化全体に興味・関心を持ち、より深く広く学習することができるよう様々な角度から資料やコラムを加えている。 ●各ページの下部に各古典の年代年表を入れ、変遷や作者同士の関係など、書道史としての理解も深めることができるように工夫されている。 ●解説の表現は簡潔であり、難解な語句や覚えたい用語にはふりがなを付して、学習効果を上げる配慮がされている。 ●拓本や肉筆の各図版は、表現と鑑賞双方に対応できるよう高精細で実物に近い色彩を再現している。拡大図版も、迫力があり、鮮明で美しく、大胆な紙面構成で臨場感に溢れている。	●「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の三分野とも、書道Ⅲの学習に必要な学習材が、系統的・段階的にバランスよく取り上げられている。 ●判型を生かした迫力ある紙面、鮮明で美しい図版により、表現と鑑賞双方の学習が充実して展開できるように工夫されている。 ●印刷において、再生紙や植物油インキを使用することで、環境への配慮がされている。

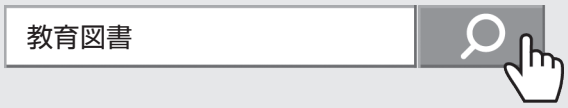
	内容の選択・程度	組織・配列・分量	表記・表現及び使用上の便宜	総合所見
	●学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 ●基礎的、基本的事項の理解や、その習得のため、適切な配慮がなされているか。	●内容の組織、配列、分量は、学習指導を有効に進められるように配慮されているか。	●学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ●用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 ●印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。	●左記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴
書Ⅰ 6教図　書Ⅰ 306	●書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、書道の基礎的な能力を伸ばし、創造的な表現と感性豊かな鑑賞の能力を育むことができるよう、表現と鑑賞の関連を図りながら各領域が適切に構成されている。 ●口絵において、漢字が世界に類を見ない歴史の長い文字であることを知るなど、生徒がこれから始まる書の学習に対し意欲的に取り組めるように配慮されている。 ●導入部である「書へのいざない」では、中学書写の内容の確認と書道の学習の意義や展望、学習の根幹となる用具・用材の知識や姿勢・執筆法が、コンパクトでありながらもていねいにまとめられている。 ●「漢字の書」では、各時代を代表する基本的な古典が、書風や技法の偏りなく取り上げられている。また、書道Ⅱで主に学習する篆書・隷書・草書についても、身の回りで見られる書を導入とし、各書体の特徴や、現代における意義について理解できるように配慮されている。 ●「仮名の書」では、用具・用材の知識や基本的な技法から、平安時代の典型的な古筆による学習が、効率よくスムーズに進められるように単元構成が工夫されている。 ●「漢字仮名交じりの書」では、自己の意図や感興をもとに、表現の構想を具体化できるような単元構成が工夫されている。	●導入は、中学書写の学習の確認と高校書道の学習を概観する内容で構成されており、生徒が見通しを立てて書道Ⅰの学習に取り組めるように配慮されている。 ●「漢字の書」「仮名の書」では、書体の変遷や仮名の成立に始まり、用筆や運筆、字形の取り方などの基礎・基本を押さえたうえで、系統的・段階的に配列された各時代を代表する基本的な古典の臨書や鑑賞を行い、創作へと展開できるような単元構成が工夫されている。 ●「漢字仮名交じりの書」では、漢字と仮名の調和した表現を目指し、ことばと書表現の関係を意識しながら、名筆を参考にしたり、用具・用材の扱い方や紙面構成を工夫するなど、幅広い学習が展開できるように配慮されている。 ●書道Ⅰの学習で学んだことを生活に生かす観点から、「篆刻・刻字」、「生活の中の書」についても、実践的・体験的に学習できるように配慮されている。	●解説の表現は、生徒にとってわかりやすく簡潔であり、難解な語句や覚えたい用語にはふりがなを付したり、巻末に「書道用語集」を設けるなどして学習効果を上げる配慮がされている。 ●書の伝統と文化を理解しやすくするため、他教科の内容と関連させながら学習するコラムを随所に設けている。 ●各領域冒頭のとびらやフルカラーの作品図版は、高精細で臨場感にあふれ、書の魅力や古典の美しさを伝えるための配慮がされている。 ●領域ごとに区別された色づかいやデザイン、読みやすい文字の大きさと書体に配慮するなど、視覚的に理解しやすくする工夫がされている。 ●カラーユニバーサルデザインにも配慮し、古典の美しさが際立ち、文字が読みやすく、内容を理解しやすいレイアウトデザインが工夫されている。 ●机上で効率よく教科書と書道の用具・用材を配置できるよう、強度がありながらも半分に折り畳みやすい製本方式を採用し、教室の蛍光灯の映り込みや反射の少ない用紙に印刷している。	●「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の三分野とも、書道Ⅰの学習に必要な学習材が、系統的・段階的にバランスよく取り上げられている。 ●迫力ある紙面、鮮明で美しい図版、活用しやすい折込ページの配置により、表現と鑑賞両面からの学習が充実して展開できるように工夫されている。 ●印刷において、再生紙や植物油インキを使用することで、環境への配慮がされている。
書Ⅱ 6教図　書Ⅱ 306	●書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育て、個性豊かな表現と鑑賞の能力を高めるため、表現と鑑賞の関連を図りながら各領域が適切に構成されている。 ●「漢字の書」は、各書体の代表的な古典を系統的･段階的に取り上げ、特に篆書・隷書・草書については、初学者のための基本的な事項についてもていねいに解説されている。 ●「仮名の書」は、平安時代の幅広い古筆を、書道Ⅰとの関連を図りながら系統的・段階的に取り上げている。また、倣書から創作への流れがわかりやすく解説されており、散らし書きについて理解を深められるように配慮されている。 ●「漢字仮名交じりの書」は、ことばと書表現の関係について考え、主体的に作品を構想し、名筆による学習を基盤とした創作が展開できるように配慮されている。	●巻頭口絵では、身の回りの書に目を向けることで、書の伝統と文化の理解や感性を高める工夫がされている。 ●「漢字の書」「仮名の書」は、個性豊かな古典の臨書・鑑賞の学習が系統的に行える構成になっている。また、各時代の書の特徴をコラムで紹介し、書の歴史と文化について総合的に理解することができるように配慮されている。 ●「漢字仮名交じりの書」は、自己の意図に基づいて構想を具体化し、創造性豊かな表現を展開することができるような構成になっている。 ●中国と日本の書の変遷を、周辺文化とともに比較しながら学習できるように配慮されている。	●解説の表現は、生徒にとってわかりやすく簡潔であり、難解な語句や覚えたい用語にはふりがなを付したり、巻末に「書道用語集」を設けるなどして学習効果を上げる配慮がされている。 ●書の伝統と文化を理解しやすくするため、他教科の内容と関連させながら学習するコラムを随所に設けている。 ●各領域冒頭のとびらやフルカラーの作品図版は、高精細で臨場感にあふれ、書の魅力や古典の美しさを伝えるための配慮がされている。 ●カラーユニバーサルデザインにも配慮し、古典の美しさが際立ち、文字が読みやすく、内容を理解しやすいレイアウトデザインが工夫されている。	●「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の三分野とも、書道Ⅱの学習に必要な学習材が、系統的・段階的にバランスよく取り上げられている。 ●迫力ある紙面、鮮明で美しい図版により、表現と鑑賞双方の学習が充実して展開できるように工夫されている。 ●印刷において、再生紙や植物油インキを使用することで、環境への配慮がされている。

WEB でのサポートも充実！

教育図書のホームページから、下記５点の教科書の、編集趣意書・シラバス・評価規準例・検討の観点と内容の特色等の資料がダウンロードできます。

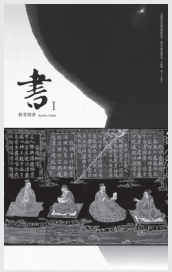
ダウンロード手順のご紹介

① インターネットブラウザを立ち上げ､｢教育図書｣で検索し､弊社のホームページを表示してください。
見つからない場合は、以下の URL を入力してください。
教育図書ホームページ URL　→　www.kyoiku-tosho.co.jp



② 弊社ホームページトップ画面にある、以下の「高校書道」バナーをクリックしていただくと、教科書の表紙が並ぶページに移動します。

③ ご覧になりたい教科書の表紙をクリックしていただくと、各教科書の紹介ページに移動します。
画面上では、上段に 306 シリーズ、下段に 302 シリーズの順で並んでいます。

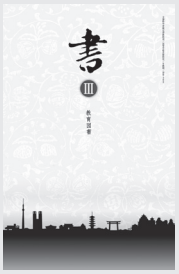


書Ⅰ 306
書Ⅰ

書Ⅱ 306
書Ⅱ

書Ⅰ 302
書Ⅰ

書Ⅱ 302
書Ⅱ



書Ⅲ 302
書Ⅲ

④ 各教科書の紹介ページ右段にある「教科書サポート資料」の、「編修趣意書・シラバス・評価規準例・内容解説資料・検討の観点と内容の特色」それぞれの項目をクリックしていただくと、各資料が pdf または Excel ファイルで表示されますので、ダウンロードしてご利用ください。

詳しくは、教育図書ホームページをご覧ください ⇩

教育図書株式会社　〒 101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-3-2　TEL.03-3233-9100（代）
URL https://www.kyoiku-tosho.co.jp　E-mail　info@kyoiku-tosho.co.jp